

部 局	こども未来部	補 職	部 長	氏 名	こども未来部長
-----	--------	-----	-----	-----	---------

## 1. 部局の使命

- 子どもが夢や希望をもてるまち、安心して子育てできるまちをめざして、子育て・子育て施策を総合的に企画・調整・実施する。  
 ○すべての子どもたちの人権が守られ、健やかに育つまちをめざして、社会的援助を必要とする子どもへの支援に取り組む。

## 2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>○「豊中市子ども健やか育み条例」に即し「子ども一人ひとりが健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わるすべての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会の実現」に向け、子どもの人権尊重をすべての取り組みの基礎に行動計画「こどもすこやか育みプラン・とよなか」に掲げた「子育て支援」「安心安全なまちづくり」を柱とした施策・事業について、総合的・計画的に取り組めます。</p> <p>①こども総合相談窓口（子ども家庭総合支援拠点）を中心に、関係部局・機関と連携し、いじめ・児童虐待を許さない地域社会づくりを推進します。</p> <p>②「子どもの貧困対策計画（子どもの未来応援施策）」に基づき、貧困を含む社会生活を円滑に営む上での困難を有する子どもへの総合的な支援に取り組めます。</p> <p>③「豊中版子育て安心プラン」に基づき、保育定員確保による待機児童ゼロ維持や教育・保育の質の確保、幼児教育・保育の無償化、多様な子育てニーズへの対応に着実に取り組めます。</p> <p>④「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画及び第1期（南部）年次計画を着実に進めるとともに、公立認定こども園のあるべき4つの機能をふまえ、子育て支援機能の強化に取り組めます。</p> <p>⑤「障害のある子どもへの支援の基本的な考え方」に基づき、児童発達支援センターを中核とした発達支援・療育の充実のためのしくみづくりを進めます。</p>	<p>①SNSによる相談窓口を開設するなど子どもが相談しやすい窓口を整備するとともに、大人にとっても相談窓口が身近な存在になり支援できるよう、相談窓口の周知を強化し、いじめ・児童虐待を許さない地域社会づくりを推進しました。</p> <p>②子どもの居場所ネットワーク事業を実施し、子どもの居場所コーディネーターの校区ごとの配置や、ポータルサイト「いこっと」の開設による居場所の取り組みの発信など、ロードマップに基づく取り組みを進めました。</p> <p>③新規施設の整備や保育定員確保緊急対策事業を実施し、待機児童ゼロを維持するとともに、教育・保育の質の確保を行い、子育て家庭の支援の充実のため、豊中版子育て安心プランを効果的に着実に推進しました。</p> <p>④公立こども園の再整備計画(前期)について、2園の公募が不調となったため、改めて前期計画園6園について検討し、令和3年度(2021年度)公募実施に向け関係部局と調整・準備を進めました。また、電話による相談事業や親子で楽しめる動画配信を実施し、新型コロナウイルス感染症が拡大する中での子育て支援機能を果たしました。</p> <p>⑤児童発達支援センターにおける相談支援や子育て発達支援プログラムの拡充を図るための体制づくりを進めるとともに、市民向け講演会を開催し、発達支援に関わる理解の促進を図りました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、子育て家庭の孤立化防止や不安の軽減を図るため、訪問事業の継続・強化や公園への巡回相談等を実施しました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>いじめ・児童虐待の未然防止の強化</p> <p>○子どもが相談しやすい窓口の整備や、地域社会における子どもの見守り体制づくりなど、「いじめや虐待から子どもを守るまちづくり」に教育委員会と連携して取組みます。</p> <p>* 市民への発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども専用LINE相談窓口の新設 7月 受託事業者公募手続き・システム協議 10月 LINE相談窓口QRコード（友だち申請）の配布 12月 LINE相談窓口の開設</li> <li>・ こども専用フリーダイヤル「とよなかつ子ダイヤル」の周知の徹底 6月 公共交通機関を活用した周知 ・ 市民フォーラムや講演会などのキャンペーンによる市民啓発</li> </ul> <p>* 育児支援家庭訪問の対象年齢を小学生まで拡充</p> <p>* スクールソーシャルワーカーと連携した地域支援ネットワークの構築</p> <p>* いじめ件数の全数把握及び事案の終結に至るまでの対応 6月 定期情報共有の運用開始（市長報告）</p> <p>○児童相談所の設置に関する考え方を整理し、今後の方向性を検討します。</p> <p>* 庁内関係部局による検討会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月 庁内会議設置（国の動向、庁内の役割分担について等）</li> <li>7月 先進都市視察（明石市を予定）</li> <li>10月 各部の役割に関する取り組み状況共有</li> <li>1月 庁内合意形成を経た次年度以降の方針を確認</li> </ul> <p>* 隣接都市との連携（広域化）可能性の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8月 隣接都市へのヒアリング</li> </ul>	<p>○こども専用LINE相談窓口を8月に開設し、水曜日常設と長期休暇時の臨時開設を行うとともに、小学5・6年生及び中学生に周知しました。</p> <p>○公共交通機関等の活用やリーフレット・ポスター・カードを小中学校園等への配布を行い、「とよなかつ子ダイヤル」を周知しました。</p> <p>○育児支援家庭訪問の対象年齢を拡充し、全129件333回の訪問のうち、小学校の家庭を5件30回訪問しました。</p> <p>○教育委員会と連携し、いじめ予防校区别研修会を5校区開催するとともに、インターネット利用に関するアンケート調査を実施しました。また、市長部局における情報管理の仕組みの構築を進めました。</p> <p>○明石市、金沢市への行政視察を実施するとともに、広域連携について大阪府や吹田市にヒアリングを実施しました。また、庁内検討会議（10月設置、3回開催）及び政策会議を経て、今後の取組みの方向性の合意形成を図りました。</p>	<p>○LINE相談について、開設曜日など子どもたちが相談しやすい手法について検討・実施します。</p> <p>○子ども総合相談窓口、とよなかつ子ダイヤルの新イメージデザインを取り入れたリーフレット・ポスターなどの配布や、市立小中学校のタブレット活用検討などにより、各相談窓口の周知を図ります。</p> <p>○年々増加する複合化・複雑化する相談について、職員の質の向上を図るとともに、関係機関と密接に連携した対応を進めます。また、多胎児家庭への伴走型の育児・家事援助等に取り組めます。</p> <p>○教育委員会など、関係機関との最適な役割分担のもと、子ども家庭総合支援拠点の機能を整理するとともにあるべき姿に向け拠点機能を充実します。</p> <p>○児童相談所の設置を想定し、人材の確保や育成、施設整備などの課題整理を行い、「(仮称)児童相談事業の基本的な考え方」を策定します。</p>
<b>総合計画</b>			
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。		
<b>基本政策</b>			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>子どもの未来応援施策の推進</p> <p>○「子どもの未来応援施策」の推進について、関係部局や公民による連携を図りながら、総合的な調整および進捗管理を行います。 *子どもの居場所事業（試行）と子ども食堂部会の事業を整理・統合し、より効果的・効率的に子どもの居場所ネットワーク事業を実施</p> <p>○子どもの居場所ネットワーク事業について、令和元年度（2019年度）に策定したロードマップに基づき、取組みを進めます。 *居場所の立ち上げ支援 *圏域ごとのネットワークづくり（研修会、交流会等） *人材バンク・ポータルサイトの開設（11月）</p> <p>○こどもの居場所における資源確保や横のつながり促進などの課題解決に向けた仕組みづくりに取り組みます。 *持続的・安定的な運営の仕組みの検討</p> <p>*スケジュール（子どもの居場所ネットワーク事業） 4月：プロポーザル（事業者選定） 5月：委託契約 11月：ポータルサイト・人材バンク開設 3月：総括</p>	<p>○令和2年度(2020年度)～4年度(2022年度)の子どもの居場所ネットワーク事業受託団体を、公募型プロポーザル方式で決定しました。</p> <p>○子どもの居場所コーディネーターを配置し、新規2校区での居場所の立ち上げ支援や既存団体への支援を実施しました。</p> <p>○4圏域で交流会を各1回、円卓会議とボランティア連続講座を各2回開催しました。</p> <p>○ポータルサイト「いこっと」を開設し、居場所の取組みを発信するとともに、居場所に協力したい人材の登録窓口を設け、派遣の試行を行いました。</p> <p>ポータルサイト「いこっと」：とよなか全体で子どもを育てることをビジョンに、居場所運営者の声やサポートしたい人の情報を掲載していく子どもの居場所ポータルサイト</p> <p>○居場所団体の安定運営に向けた補助制度について、検討しました。</p>	<p>○ロードマップに基づき、居場所の立ち上げ支援や圏域ごとのネットワークづくりなど、子どもの居場所ネットワーク事業を進め、公民協働で子どもの未来応援施策を推進します。</p> <p>○学校を核としたセーフティネットの構築に向けて、「いこっと」の周知をもとにした学校等との連携強化を進めるとともに、人材バンクの本格実施等を行うことで、つながりの促進や資源の確保など、さらなる課題解消に取り組めます。</p> <p>○居場所団体の安定的な活動に向け定期的な子ども食堂等の開催や、個別の見守りが必要な子どもやその家庭への支援に係る経費の補助制度を創設します。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けて活用を休止している居場所団体等について、活動状況を把握し、必要に応じて再開に向けた支援等を行います。</p>
	<b>総合計画</b>		
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。		
<b>基本政策</b>			
	3 子どもの未来応援施策の推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
3	<p>待機児童ゼロ維持と教育・保育の質の確保（豊中版子育て安心プランの推進）</p> <p>○今後の保育需要の増大に対応するため、約1,000人分の保育定員を確保するとともに待機児童ゼロを維持し、子育てしやすい環境を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*約1,000人分の保育定員の確保（～令和6年（2024年）4月）</li> <li>*保育定員確保緊急対策事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>預かり保育認定幼稚園制度の実施（6月～）</li> <li>保育所・認定こども園の定員弾力化、切り替え</li> </ul> </li> <li>*私立幼稚園の認定こども園化の推進</li> </ul> <p>○令和3年4月入所選考に向けたAIの導入に取組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*利用調整基準の見直し</li> <li>*システム開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>5月：仕様書確定</li> <li>7月：公募</li> <li>9月：プロポーザル実施</li> <li>10月～：システム開発</li> </ul> </li> </ul> <p>○公民が連携し、すべての子どもが質の高い幼児教育・保育を受ける仕組みの充実に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*保育士応援手当、保育士歓迎一時金のさらなる活用</li> <li>*公民による教育保育環境ガイドラインの実施</li> <li>*幼児教育サポートセンターによる民間園への相談・助言</li> </ul> <p>○市民への情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*利用案内冊子の刷新（6月）</li> <li>*ポータルサイト「とよふぁみ」の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの実施</li> </ul> </li> </ul> <p>○子育てに対する不安や大変さだけでなく、本来の子育ての意義や楽しさを積極的に発信し、家族での外出や一緒にいる時間を増やすなど、すべての家庭が安心して子育てできるよう、支援を充実します。</p>	<p>○新規施設を2か所整備（令和3年（2021年）4月開園）し、保育定員2号135人分、3号14人分を確保しました。また、保育定員確保緊急対策事業を実施し、1号から2号への切り替え15人分、2号弾力化16人分を確保するとともに、預かり保育充実幼稚園を5園認定しました。また、2施設から私立幼稚園の認定こども園化の意向を確認しました。</p> <p>○利用調整基準の見直しを行うとともに、令和3年（2021年）4月の選考において、現行の選考とAIによる選考の平行稼働によるテストを行いました。</p> <p>○保育士助成金のさらなる活用につながるよう、年齢制限拡充や未経験者の範囲拡大など応募要件緩和の見直しを検討しました。</p> <p>○公民での研修会や公開保育、新規開設園の他、園からの要請による、幼児教育サポートセンターの巡回において、教育保育環境ガイドラインの活用に取り組みました。</p> <p>○「教育・保育施設等利用のご案内別冊」を改訂するとともに、「とよふぁみ」について、利用者ニーズを把握するアンケートを実施し、機能拡充の検討を行いました。</p> <p>○子育ての意義・楽しさ発信の新規事業「みんなが子育て応援団(子育て世帯外出支援事業)」を企画立案しました。</p>	<p>○施設整備については保育ニーズの地域傾向や全体量のピークアウト、また就学全児童数の減少を見据え、公募地域や量を精査しながら進めていきます。</p> <p>○保育定員確保緊急対策事業においては、確保状況を勘案しながら、令和4年度(2022年度)以降の見直しに向けた検討を進めます。</p> <p>○認定こども園化の検討意向を示す私立幼稚園に対し、令和4年度(2022年度)以降の移行に向けた支援を実施します。</p> <p>○4月入所一次選考結果通知の早期化や窓口に来なくても手続きできる手法など、デジタル化対応利用調整業務全体について検討を進めます。</p> <p>○助成金支給の応募要件の見直しを行うとともに、大阪府とも連携し、制度周知を行います。</p> <p>○民間の公開保育や公民による実践報告会の実施、幼児教育サポートセンターの巡回訪問における活用などにより、教育保育環境ガイドラインの活用促進を進めます。</p> <p>○「とよふぁみ」の機能拡充による情報発信の強化に取り組みます。</p> <p>○「赤ちゃんの駅」や「とよなか子育て応援団」と協働で「みんなが子育て応援団(子育て世帯外出支援事業)」を実施します。</p>	
	<b>総合計画</b>			
		1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。		
<b>基本政策</b>				
	1 子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）			

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
4	<p>公立こども園再整備計画の推進</p> <p>○「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画に基づき、第1期（南部）年次計画及び公立こども園再整備計画（前期）を着実に進めます。 *原田こども園・てらうちこども園の基本・実施設計 *計画にある残りの4園（西丘・東丘・てしま・とねやま）について先行する2園を参考に実施手法を検討</p> <p>○せんなりこども園の円滑な閉園に向け、園児の転園などの取組みを進めます。 *令和3年（2021年）3月末閉園</p> <p>○庄内地域の学校跡地を活用したこども園の整備について、関係各課と調整し、具体的な検討を行います。 *野田こども園、島田こども園の具体的な検討（スケジュール等）</p> <p>*スケジュール（公立こども園再整備） 4月～5月：サウンディング 6月：要求水準書確定 7月：公募 8月：プロポーザル実施 12月：議会承認 1月～：基本設計</p>	<p>○原田及びてらうちこども園大規模改修工事にかかるサウンディング調査を実施し、結果概要を公表しました。 調査：4～5月、結果公表：6月、参加：2者</p> <p>○サウンディング調査結果をふまえ公募型プロポーザルを実施しましたが、応募が無かったため業務対象を6園（原田・てらうち・西丘・東丘・てしま・とねやま）に拡大する再検討を関係課と行いました。</p> <p>○在園児の転園調整を行い、令和3年（2021年）3月末にせんなりこども園を円滑に閉園しました。</p> <p>○学校跡地活用について「南部地域の学校跡地に関する個別活用計画」において、野田および島田こども園整備で跡地活用することを示しました。</p>	<p>○6園について公募型プロポーザルを実施し、事業者決定に向けて取り組みます。また、基本設計時には園の意見をふまえるなど、事業者と協議を行います。</p> <p>○学校跡地活用の公立こども園再整備について、関係課で実施する実現可能性調査の結果をふまえ、検討を行います。</p>	
	<b>総合計画</b>			
	1-2-①	保育や幼児教育の充実を進めます。	1-2-②	子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。
	<b>基本政策</b>			
1	子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>発達支援・療育の充実</p> <p>○障害のある子どもへの切れめない支援に向けた取組みを進めます。 * 医療的ケア児連絡会議を活用した、関係機関との連携の仕組みづくり</p> <p>医療的ケア児の支援策の検討3回/年 (8月・11月・2月)</p> <p>* 医療的ケア児等実態調査の実施 7月 アンケート調査票の集計・分析</p> <p>* 医療的ケア児への訪問保育相談の実施</p> <p>* 児童発達支援センター内での支援の充実</p> <p>* 保護者支援の充実 (子育て発達支援プログラムの実施) 5月～ 基礎編 (7回連続講座) 10月～ ステップアップ編 (10回連続講座)</p> <p>○障害のある子どもへの支援の質の向上に向けた取組みを進めます。 * 障害児通所支援事業者連絡会の開催と研修の実施 4月 事業者連絡会の設立 7月 事業者のスキルアップに関する研修会の開催</p> <p>* 支援者研修会の実施 7月～2月 連続8回講座 (発達支援に関する基礎知識など)</p> <p>* 通所支援事業所への巡回訪問の実施 (15事業/54事業所)</p>	<p>○医療的ケア児支援連絡会議委員への意見聴取をふまえ、8月に実態調査アンケートを行い、その結果を障害児福祉計画に反映しました。 また、12月に書面会議を開催し、現状の課題と今後の取組みについて検討しました。</p> <p>○医療的ケア児訪問保育相談を2名の対象者にのべ9回実施しました。</p> <p>○発達特性チェックシート改定や個別療育・小集団親子教室連絡会議の実施などにより、児童発達支援センターでの療育の充実を進めました。</p> <p>○子育て発達支援プログラムを開催しました。(基礎編8名、ステップアップ編6名受講)</p> <p>○障害児通所支援事業者連絡会を設立(4月)し、研修の実施(9月、2月)と事業所紹介パンフレットの作成(3月)を行いました。令和3年(2021年)3月末時点で49法人中31法人(約63%)が加入しました。</p> <p>○支援者研修会を11月、12月、2月に2回開催するとともに、研修に参加できなかった支援者へのDVDの貸出を実施しました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、障害児通所支援事業者を7事業所について巡回訪問しました。</p>	<p>○実態調査アンケート結果でニーズの高かった社会資源や相談機関についてのガイドブックを作成します。</p> <p>○アセスメント能力の向上など、職員のスキルアップのため、個別支援計画についての職員研修などに取り組みます。</p> <p>○子育て発達支援プログラムの拡充に向けての体制づくりに取り組みます。</p> <p>○連絡会へ加入促進について、側面支援を行います。</p> <p>○ZOOMやyoutubeでの開催など、研修の開催手法やカリキュラムの検討を行います。</p> <p>○巡回訪問を継続的に実施し、専門職からの助言が必要な場合に児童発達支援センターにつなぐなど、取組みを進めます。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>4 児童発達支援の充実 (児童発達支援センターの設置など)</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>子育て家庭支援の充実</p> <p>○子育て支援センターほっぺを中心とした重層的な支援体制により、セーフティネット機能を強化するとともに、市域全体の子育て支援の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* こんにちは赤ちゃん事業の団体委託化による効果的な事業の実施</li> <li>* 地域子育て支援センター（公立こども園）との連携強化</li> <li>* 多胎児家庭支援を含めた家事支援の手法やスキームの検討</li> </ul> <p>* スケジュール（こんにちは赤ちゃん事業）</p> <p>4月：公募 5月：プロポーザル実施 6月：事務引継ぎ 7月：団体委託開始</p> <p>○ひとり親家庭への支援を充実します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自立促進計画に基づく、生活支援・就業支援の充実</li> <li>* 養育費保証制度の創設・実施</li> <li>* 母子父子福祉センターの指定管理委託の更新</li> </ul> <p>* スケジュール（養育費保証制度）</p> <p>5月：公募 6月：プロポーザル実施 8月：制度周知・対象者相談（児童扶養手当現況届時） 9月：申し込み 11月：制度開始</p> <p>* スケジュール（母子父子福祉センター指定管理委託）</p> <p>6月：公募 9月：プロポーザル実施 12月：議会報告</p>	<p>○こんにちは赤ちゃん事業を7月から完全委託化し、受託者と連携した効果的・効率的な運営により97.1%の面談率を達成しました。</p> <p>○子育て支援コーディネーター連絡調整会議を6回開催し、地域の子育て支援の充実を進めました。</p> <p>○多胎児家庭に対する支援のあり方を検討し、令和3年度（2021年度）の多胎児家庭支援策の企画立案を行いました。</p> <p>○令和元年度（2019年度）に策定した自立促進計画に基づき、養育費保証促進補助金事業及び公正証書・調定調書作成費用等補助金事業を創設しました。</p> <p>○母子父子福祉センターの指定管理委託者の選定について、6月に公募を行い、9月に決定、12月に議会への報告を行いました。</p>	<p>○こんにちは赤ちゃん事業の面談率の水準を確保するとともに、育児支援家庭訪問など関係課当と連携し、切れめのない支援を行います。</p> <p>○地域の子育て支援の充実に向け、子育て支援コーディネーターの育成と利用者支援事業の取組みを推進します。</p> <p>○多胎児家庭への支援として、育児支援家庭訪問事業の拡充による伴走型の育児・家事援助やファミリーサポートセンター利用料補助を実施します。</p> <p>○養育費保証制度について、利用者拡大に向けた周知を行うとともに、親権を持たない親と子の面会交流や養育費徴収強制執行のための支援について検討します。</p> <p>○母子父子福祉センターについて、指定管理者と連携して、現在の取組みを着実に実施しながら令和4年（2022年）度の仮移転と令和6年（2024年）度の建替えに取り組みます。</p>
	<b>総合計画</b>		
	1-1-① 産前・産後の切れめのない支援を進めます。	1-1-③	地域で妊産婦および乳幼児期の親子を支えるしくみづくりを進めます。
<b>基本政策</b>			
	1 子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>新型コロナウイルス感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本庁窓口における飛沫感染防止のためのシート設置</li> <li>○国の補助制度を活用した、公立・民間園におけるマスクや消毒液等の購入</li> <li>○民間施設における臨時休園の代替として公立こども園4園において緊急一時預かりの実施</li> <li>○子育て世帯生活支援特別給付金の実施</li> <li>○新型コロナウイルスの影響で欠席した児童にかかる保育料・給食費の還付等の実施</li> <li>○職員の振替勤務活用による密集の緩和</li> </ul>	<p>○本庁の各窓口にシートを設置するとともに、消毒液による感染拡大防止を実施しました。</p> <p>○国の補助制度を活用し、マスクや消毒液等の購入など、公立・民間園における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組みを支援しました。</p> <p>○4月、5月の緊急事態宣言下の公立こども園において、緊急一時保育を実施しました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急経済対策による給付金について、国3制度、市2制度の給付を実施しました。</p> <p>○登園自粛等による保育料等の還付について、規則改正による実績徴収への取り組みや手続きの簡素化により、円滑な還付を行いました。</p> <p>○勤務シフトの調整や臨時休暇の計画的な取得などにより、職員の密集の緩和に取り組みました。</p>	<p>○引き続き、シートの設置や執務室のアルコール消毒、手指消毒の励行など、感染拡大防止策に取り組みます。</p> <p>○国の新型コロナウイルス感染症関連施策の動向を注視し、適切に対応します。</p>
<b>総合計画</b>			
	0-0-0		
<b>基本政策</b>			
	0		



#### 4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	「豊中市子ども健やか育み条例」に即した行動計画に基づく施策の推進 ○子ども施策を総合的・継続的に推進するため、関係部局の連携のあり方について、実効性のあるものとなるよう常に見直しを行いながら、計画的に取り組めます。	令和2年～令和5年度（2020～2023年度） ・第2期行動計画施策の推進、進行管理
	<b>総合計画</b>	
	1-1-① 産前・産後の切れめない支援を進めます。	1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。
	1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。	1-3-① 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援します。
	<b>基本政策</b>	
1	子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）	
2	子どもの未来応援施策の推進 ○子どもの未来応援のため、学校を核としたセーフティネットのしくみについて、官民協働での重層的な居場所ネットワークを構築します。	令和2年～令和6年度（2020～2024年度） ・段階的な居場所ネットワークの構築
	<b>総合計画</b>	
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。	
	<b>基本政策</b>	
	1	子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>待機児童ゼロの維持をはじめとする豊中版子育て安心プラン推進</p> <p>○令和4年度(2022年度)までの実施計画「豊中版子育て安心プラン」を着実に実施し、引き続き待機児童ゼロの維持をはじめ子育て・子育て支援の充実に努めます。</p>	<p>令和3年度(2021年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内及び北部一時保育事業の総括</li> </ul> <p>令和6年(2024年)4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育定員確保目標達成</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	1-1-② 安心して子育てができるよう支援します。	
	<b>基本政策</b>	
1 子育て安心プランの策定・推進 (幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援)		
4	<p>公立認定こども園の適切な運営と適正配置の具体化</p> <p>○公立こども園自己評価や教育保育環境ガイドラインを実施し、教育・保育の質の向上を図ります。</p> <p>○「夢・はぐくむ」公立こども園整備計画と個別計画について、保護者や住民への説明を行いながら、計画的な再整備を進めます。</p>	<p>令和2年～5年度(2020～2023年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期再整備</li> </ul> <p>令和5年度(2023年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画中間見直し</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	1-2-① 保育や幼児教育の充実を進めます。	1-2-② 子どもたちの学びを高める環境づくりを進めます。
	<b>基本政策</b>	
1 子育て安心プランの策定・推進 (幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援)		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
5	<p>子どもの相談支援体制の充実</p> <p>○子ども家庭総合支援拠点の運用を強化するとともに、国における児童相談所機能強化の動向を注視しながら、児童相談所の設置を含めたあるべき姿を検討し、子どもにかかる相談支援体制を整備します。</p> <p>○児童養護施設を活用し、セーフティネット機能をもつ子育て・子育て支援事業の充実を図ります。</p>	<p>～令和4年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの相談支援体制の整備</li> <li>・児童養護施設を活用した子育て支援事業の充実</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。	
	<b>基本政策</b>	
0		
6	<p>障害のある子どもへの支援の充実</p> <p>○「障害のある子どもへの支援の基本的な考え方」に基づく具体的な取り組みを進めるとともに、さらなる支援の充実に向けて取り組みの総括を行います。</p> <p>○民間委託事業について、今後の方向性を検証します。</p>	<p>～令和5年度（2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行管理、総括</li> </ul> <p>令和4年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業の総括</li> </ul>
	<b>総合計画</b>	
	1-3-② 社会的援助が必要な子ども・若者への支援を充実します。	
	<b>基本政策</b>	
4 児童発達支援の充実（児童発達支援センターの設置など）		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
7	<p>子育て家庭支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アウトリーチ事業について、専門職による視点を活かしながらより効果的なあり方について検証します。</li> <li>○子育て支援センターほっぺにおいて、民間資源も活用した事業の充実を図り、育児不安や負担感の軽減に取り組みます。</li> <li>○南部コラボ開設に向け、南部の課題に即した事業内容の具体化の検討を進めます。</li> <li>○ひとり親家庭等自立促進計画に基づき、取組みを進めます。</li> <li>○母子父子福祉センターの建て替え工事に向けた調整及び建て替え後の運用についての整理を行います。</li> </ul>	<p>令和2年度（2020年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園ごとの報告会等による事業の検証</li> </ul> <p>令和4年度（2022年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部コラボに（仮称）ほっぺ分室開設</li> </ul> <p>～令和5年度（2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進、進行管理</li> </ul> <p>令和4～5年度（2022～2023年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子父子福祉センターの建て替え</li> </ul>
<b>総合計画</b>		
1-1-①	産前・産後の切れめない支援を進めます。	
<b>基本政策</b>		
1	子育て安心プランの策定・推進（幼児教育無償化の検討、待機児童ゼロ維持、女性の就労支援）	